

ニュースリリース

Sapporo Concert Hall Kitara
札幌コンサートホール

Sapporo Concert Hall

Kitara 初の日系オルガニスト 赤枝サンテソン留果が
第26代専属オルガニストに就任

このたび、第26代札幌コンサートホール専属オルガニストとして、赤枝サンテソン留果の就任が決定しました。

当ホールでは、オープン翌年の1998年から毎年、パイプオルガン(アルフレッド・ケルン社製)の製作地であるフランスでオルガンを学んだ演奏家を専属オルガニストとして招聘していますが、第26代オルガニストにフランスのリヨン国立高等音楽院で学び、ヨーロッパだけでなく国内でも活動してきた赤枝サンテソン留果が就任することとなりました。

就任期間は2025年9月1日から2026年8月31日までの予定です。任期中は当ホールや国内各地でコンサートを行うほか、教育活動にも携わるなど、オルガン音楽の魅力をご紹介します。

＜プロフィール＞

赤枝サンテソン留果 Luca Akaeda-Santesson

2001年イタリアのミラノ生まれ。幼少より音楽に興味を持ち、パリ17区クロード・ドビュッシー音楽院にてジャン＝フランソワ・アトンのオルガンクラスで音楽の道を歩み始める。リヨン国立地方音楽院にてリオネル・アヴォ、イヴ・ラファルグに、リヨン国立高等音楽院にてフランソワ・エスピナス、リズベズ・シュルンベルジェに師事し学士号と修士号を取得。現在はハンブルク音楽演劇大学の国家演奏家資格課程にてピーター・ファン・ダイクに師事している。

2022年ジャン＝ルイ・フローレンツ国際オルガンコンクールではグランプリ及び聴衆賞、第2回オリヴィエ・メシアン国際コンクールでは第2位及びメシアン作品最優秀演奏賞を受賞。23年オランダのアルクマールで開催された第15回シュニットガー国際オルガンコンクールにて優勝し、24年のECHO(European Cities of Historical Organs)の若手オルガニスト・オブ・ザ・イヤーにも選出された。

2025年9月より第26代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任予定。



＜株式会社東洋実業 presents＞

第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト
赤枝サンテソン留果 デビューリサイタル

日時/2025年10月11日(土) 13:15開場 14:00開演(15:30終演予定)

会場/札幌コンサートホールKitara 大ホール

料金/全席指定(税込) 一般:1,000円 U25:500円

プログラム:未定

●担当・お問い合わせ

(公財)札幌市芸術文化財団 コンサートホール事業部 管理課 業務係 石田、大石
〒064-8649 札幌市中央区中島公園 1-15 TEL 011-520-2000 FAX 011-520-1575